

農山漁村地域整備計画の目標の実現状況等（事後評価）

1 計画概要

計画の名称	「夢をかなえ人を結ぶ信州の農業・農村」の実現に向けた基盤整備計画
計画策定主体	長野県
対象市町村	長野市、松本市、上田市、飯田市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、軽井沢町、御代田町、立科町、青木村、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、松川町、高森町、阿南町、阿智村、喬木村、豊丘村、上松町、木曾町、木祖村、王滝村、麻績村、生坂村、朝日村、筑北村、池田町、白馬村、小谷村、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村（58市町村）
計画の期間	平成25年3月～平成30年度（6か年間）（※25年度の前倒しとして24年度補正含む）
計画の目標	「第2期長野県食と農業農村振興計画」に基づき、水土里と人を結び輝く農業農村の実現に向け、信州農産物の生産と安全で快適な農村環境の確保を図るため、次の3つの目標を基本とし、生産基盤と生活環境の整備を総合的に推進する。 ① 信州農畜産物の生産を支える基盤づくり ② 安全で暮らしやすい農村づくり ③ 農村の公益的機能の維持・発揮
全体事業費	28,229,472千円 [最終計画]

2 整備計画の目標の実現状況等

（1）交付対象事業の進捗状況

[実績事業費] 27,225,981千円
整備計画に基づき、209地区において事業を実施し、148地区が完了した。なお、当該計画期間後も継続する地区については、次期農山漁村地域整備計画に位置付け、事業の進捗を図る。

（2）事業効果の発現状況

更新時期を迎えた基幹的な農業水利施設の整備、畑地かんがい施設の更新・補修、農業用ため池の改修などを計画的に実施したことにより、第2期長野県食と農業農村振興計画の推進が図られた。

※ 毎年度の実施状況等は、「長野県食と農業農村振興計画レポート」として公表済み

（3）成果目標の目標値の実現状況 ※ 関連する農業農村整備事業の実績も含む

成果指標	基準値 (H24)	目標値 (H30)	実績値 (H30)	達成率	達成状況
① 信州農畜産物の生産を支える基盤づくり					
基幹的農業用排水路における機能保全計画策定施設の割合を増加させる	25%	35%	40.4%	115.4%	達成
基幹的な農業水利施設、畑地かんがい施設等の更新整備により、機能の維持又は向上が図られ、農業用水の安定供給や排水機能が確保される農用地を増加させる	9,500ha	20,000ha	21,948ha	109.7%	達成
農道の補修等が必要となっている農用地のうち、補修等により、通作及び農産物輸送条件の維持又は向上が図られる農用地を増加させる	9,500ha	18,000ha	22,878ha	127.1%	達成
② 安全で暮らしやすい農村づくり					
農地防災対策により、湛水被害等のおそれのある農用地の延べ面積を減少させる	5,800ha	4,400ha △1,400ha	4,272ha △1,528ha	109.1%	達成
③ 農村の公益的機能の維持・発揮					
農業集落排水施設における最適整備構想策定処理区の割合を増加させる	10%	37%	38.1%	103.0%	達成
農業集落排水施設の機能強化により、生活環境が維持又は改善される対象人口の割合を増加させる	14%	17%	19.6%	115.3%	達成
小水力発電の発電施設の整備を行い、再生可能エネルギー活用の普及拡大を図る	1地区	11地区	11地区	100.0%	達成

（4）今後の方針

引き続き、第3期長野県食と農業農村振興計画（H30～R4）に基づき、「稼ぐ農業を支える基盤整備の推進」と「持続的な農業生産活動を支える基盤づくり」を総合的に推進する。